

INTERVIEW 01

感染予防指導者研修に参加

7月6日に“シミュレーションラボ アゼリア”にて感染予防指導者研修が開催され、吉田主任・朝日主任・白水Ns・鷲見Ns・松田Nsが参加しました。参加者の中から吉田主任と朝日主任にお話を聞きました。

シミュレーションラボ アゼリアとは

(朝日)実際の現場に近いような部屋やベッドなどがあり介護現場での動き方を想定しながら研修を受けることができる場所でした。

(吉田)いろいろな機材があるので演習などで活用ができますね。

これまでの施設の感染対策で感じていたこと

(吉田)手指消毒のタイミングや場面ごとにどのような感染対応が必要なのかなど、全職員がしっかりと理解・判断できていないと感じることも時々ありました。

感染予防指導者研修で学んだこと

(朝日)効果的な手指消毒の方法や利用者支援中

における手指消毒のタイミングを今回改めて学びました。

(吉田)これまで研修を受けてみんなが知っているが、おろそかになりがちな手指消毒をする際の適切な消毒薬の量やタイミングなどの重要性を再確認できました。またPPEの着用方法の再確認も必要ですね。

研修を終えて何を伝えたい？

(朝日)やはり手指消毒が基本なのでその重要性を伝え、全員が確実にできるように声掛けをしていきたいと思っています。他の施設では感染者対応した職員が感染経路になり、感染が広がってしまった事例もあると聞きます。このようなことを絶対に起こさないように部署内で声

をかけあっていきましょう。

(吉田)手指消毒を毎回適切に行うことは手間に感じることもあるでしょう。また、PPEも正しく着用すると動きに支障が出ます。しかし感染が発生するとゾーニングとなり利用者・職員に大きな制限がかかります。再びこのようなことにならないよう、大変ですが「一人一人が適切な感染対策を理解し日々実践することが最大の感染予防になるんだよ」ということを職員に伝えていきたいです。

研修に参加した5名の職員から各部署においてフィードバックがあるかと思います。施設全体で感染予防の意識を高めていきましょう。



シミュレーションラボにはこのようにベッドなどの機材が準備され介護現場に近い環境で実演することができます。